
澄む葉に喰い殺される為だけに用意した混沌

佐藤佑

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

澄む葉に喰い殺される為だけに用意した混沌

【Nコード】

N3023S

【作者名】

佐藤佑

【あらすじ】

のつもりが混沌状態で書いたせいで本筋から離れている。

偶々小学校の時の友達に会った。

そこで彼女の話になった。

彼は俺の彼女のことは知らないはずだが、

もし彼の学校にまで彼女のいわれもない悪い噂が広まってしまっていたら

どうしようかと思ってしまった。

「自分が悪く言われたらどうしよう・・・」

そう思ってしまった。

彼女のことを悪く言われたら・・・

そう思うのが普通だと思う。

でもまず俺は自分の心配をしてしまった。

彼女はそれでも、それを言ったとしても俺のことを好きでいてくれるだろう。

でも、そんな優しさがつらい。

俺はこんなにも汚いのに、

俺はこんなにも浅ましいのに、

俺はこんなにも貪欲なのに、

彼女は俺の悪口ひとつ言わない。

むしろ俺の悪口を否定してくれる。

俺にはもったいない気さえする。

吊り合うための努力をしない自分がいる。

最近自分のことが怖くなる。

父親と同じようになるんじゃないか？

でも、同じようにならない努力さえせずに遊んでいる、

楽な方に楽な方に逃げている自分がいる。

わかってるなら行動しろって？

それができない。いや、

それをするだけのやる気が俺にはない。

俺は所詮その程度、

その程度の人間なんだと思う。

そうやってまた逃げる。

俺は逃げでできてるんだと思う。

逃げてるんだから何もしないよりはいい？

綺麗事じゃないか。

逃げているんだ。

努力から。

何もしていないのにやるべきことをやっている、

ほかの人と同じでいたいなんて思っている。

自ら特殊な環境を作り出したのに、

それに責任を持つとはしない。

責任なんてとれるわけがない。

子供なんだ、俺はまだ。

世の中のことなんて何も知らない。

それなのに偉そうなことを

ベラベラと吐き続けている。

いわば五歳児と変わらない。

それで何が悪い。

まだ子供なんだ。

と、自分に言い訳をする。

世の中に出て自分にできることなんてない。

何ができるかなんてわからない。

何も知らない。

でも、知ろうとはしない。

何ができるのか、探そうともしない。

俺はただただパソコンに向かい、

知ろうともしない世界のことを棚に上げ、

仮想世界を書き連ねる。

ただただ自分以外を冒読し続ける。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3023s/>

澄む葉に喰い殺される為だけに用意した混沌

2011年10月8日19時59分発行